

そよかぜだより

第87号

発行 2009. 8. 16

毎月1回発行
社会福祉法人
そよかぜ

連絡先

ひばり園 578-0855
FAX 578-0466
くれよん 578-2575
つくしの家 578-0855
あおぞら 570-6110
エール 570-1233

資源回収時のご連絡は
「ひばり園」へ

大不況のおかげでよく分かりました

仕事こそ最良の教師

いまひばり園では仕事が少ない日が続いています。大不況のため取引企業が軒並み生産量を落とすからです。ひばり園だけでなく、新聞やテレビで盛んに報道されているように全国の作業所から「仕事がない」という悲鳴が上がっています。厚生労働省では作業所で働く障害者の賃金アップを目指して「賃金倍増5カ年計画」を推進していますが、世界同時不況に陥つたままでは、倍増どころか半減しているのが現実です。

仕事が少なくなると、一日の途中で仕事が終わわり、その後することがなくなる場合があります。はじめのうちはそのような空き時間があると「利用者会議」と称して、だれでも自由に意見が言える場を設けるなどして時間を過ごしますが、連日となるとそれもすぐ限界です。なんとか4時の終業時間まで引き延ばすことに職員は頭を悩ますことになりまます。

職員がいろんな手を考えて引き伸ばしてみても、そのことは利用者にもよく分かっています。なんとなく遊びのような雰囲気作業室の中に広がってきます。かつて忙しかったときのように、利用者と職員が一丸となつてなんとか今日のノルマを達成しようと思死に取り組む緊迫した空気はどこにもありません。

「福祉施設は企業ではないのだから、金儲けだけを目的にしないで、レクリエーションなどを多く取り入れて楽しく一日が過ごせる場にすべきだ」という意見は昔から根強くあります。忙しくなつて仕事に追われる日が続くようになると、そのような意見が出てくるものです。

しかし緊張感のある場所ではないと利用者の顔はいきいきと輝いてきません。福祉施設を「一日楽しく過ごせる場所」にするのは、一般社会から遠ざけ特殊な環境に閉じ込めることになりまます。そのような環境の中で「自立支援」と口先で唱えてみてもむなししい空念仏になるでしょう。

一生けんめい仕事をすることは、単に作業をこなすだけでなく、自分も役に立つことをしているという自覚を心の中で持つことであり、自分の存在意義を確認することです。働く喜びは人間の本能でしょう。まれにみる大不況のおかげで、改めて仕事の大切さ、働くことのありがたさを再確認している次第です。

ご協力ありがとうございました。 7月の募金 23,407円
(順不同) 平成21年4月～7月の合計 127,421円

帯刀 幸子 様	井上 誠一 様	北野 浩美 様
大野 元雄 様	森田 勝 様	田中 明子 様
清水 賢 様	山下 暉枝 様	村野 理子 様
清水 知子 様	中原 幸政 様	帯刀 進 様
宇津木 牧夫 様	濱野 岬 様	平岡 知子 様
国本 昭治 様	渡辺 時三 様	天満 喜代子 様
袴田 実 様	山崎 六雄 様	関村 理 様
大内 たま子 様	橋本 亜紀子 様	関村 英希 様
榎本 正代 様	清水 キヨ子 様	長谷川 キヌ子 様
松岡 竹子 様	尾又 恭子 様	角野 克子 様
角野 満壽子 様	下田 コウ 様	田村 由親子 様
竹内 照夫 様	土屋 三枝子 様	田村 千佳 様
小沢 達子 様	渡辺 四郎 様	大野 素子 様
吉野 満里子 様	山影 幸子 様	本間 正彦 様
川崎 利男 様	永岡 智恵子 様	桜沢 喜作 様
斉藤 忠 様	阿部 郁子 様	田中 稔 様
関谷 博 様	アサロンカワノ 様	平野 嘉子 様

匿名様(3,050円)
ご連絡は、ひばり園へ
羽村市五ノ神2-6-7
042-578-0855
くれよん7月の売上げ
834,080円でした。

羽村市内の小学校と中学校の生徒のみなさんが、各学校単位でプルトップ収集にご協力して下さいます。ありがとうございます。

社会福祉法人 **そよかぜ** の

《資源回収》

にご協力をお願いします

新聞、雑誌、ダンボール

(ボロは扱っていません)

7月は33,760tでした。金額は459,195円となりました。この収益は、社会福祉法人そよかぜの運営資金になります。みなさまのご協力ありがとうございました。

9月は第3日曜日20日です。

大雨の場合は、次週の日曜日に順延します。